

大震災・復興ニュース(第139報)

平成25年12月19日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年12月13日～12月17日
- 2 測定分析機関 (公財)海洋生物環境研究所,(一財)日本冷凍食品検査協会,(一財)日本食品分析センター,(株)静環検査センター。
- 3 測定結果

すべての検査品目について、基準値を下回り、安全性に問題のないことが確認されました。

水産物(採取日 平成25年12月9日～12月11日) (単位:ベクレル/kg)

| 種別 | 採取場所 | 放射性セシウム | 種別 | 採取場所 | 放射性セシウム |
|----------|----------|---------|------|---------|---------|
| アイナメ | 女川湾 | 不検出 | ホウボウ | 女川湾 | 不検出 |
| オウゴンムラソイ | 雄勝湾 | 不検出 | マサバ | 三陸南部沖 | 不検出 |
| スケトウダラ | 宮城県沖 | 不検出 | マダラ | 宮城県沖 | 不検出 |
| スズキ | 金華山～江の島沖 | 不検出 | アカガイ | 仙台市荒浜地先 | 不検出 |
| スルメイカ | 三陸南部沖 | 不検出 | ヒラメ | 仙台湾 | 不検出 |
| ヒラメ | 大須沖 | 不検出 | - | - | - |

2 管内の復興に向けた動き

11月の塩竈市魚市場の水揚げ状況

・地方卸売市場塩竈市魚市場の平成25年11月の水揚げ量は、数量1,471トン、金額1,011,180千円でした。主力である鮪延縄船の水揚げが伸びない事も要因の一つとなり、前年同期比較で数量は1,130トン、金額では584,169千円の減少となりました。また、1月から11月までの水揚げ累計は、数量15,737トン、金額8,053,333千円となり、昨年と比べると数量8,562トン、金額5,340,981千円の減少となりました。この主な要因としては、鮪延縄船と遠洋底曳網漁業(陸送によるキンメダイやクサカリツボダイ)の水揚げが減少したためです。

塩竈市魚市場水揚げ状況(平成25年1月～11月累計) (トン,千円)

| 区分 | 平成25年 | | 平成24年 | | 対比 | |
|----------|---------|-------------|---------|-------------|-------|-------|
| | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 |
| 1～11月の累計 | 15,737 | 8,053,333 | 24,299 | 13,394,314 | 65% | 60% |
| (うち11月) | (1,471) | (1,011,180) | (2,601) | (1,595,349) | (57%) | (63%) |

荒浜漁港の復旧状況について（その2）

荒浜漁港の復旧工事については、これまで船揚場護岸や砂防堤防（黄色で表示した区域）が完成し利用可能となっていました。今般、市場前岸壁や物揚護岸（緑色で表示した区域）の復旧工事が終了し利用可能となりました。

工事中（赤色波線で表示した区域）の岸壁や内側護岸についても利用者と調整を図りながら早期の完成を目指しておりますので今後ともご協力をお願いします。

